

# 普仙寺だより

第127号 平成17年10月



平成17年9月23日 秋の茶会にお手伝い頂いた方  
杉浦光子さん、清水カナ江さん、谷山よし子さん  
岡田さとえさん、杉本恵子さん、加藤桂子さん

## お経

仏教ではいろいろなお経を声を出して読みます。

浄土宗では、日常のお参りの際に読むお経を決めています。その形式を「**日常勤行式**（にちじょうごんぎょうしき）」と呼んでいます。

「日常勤行式」の中にはいくつかの「**偈文**（げもん）」があります。「偈（げ）」とは、5字または7字を1行としている詩の形の文章です。

文字数が決まっているので、声に出しても称えても、耳で聞いても形が揃い美しいものです。

浄土宗の「日常勤行式」の初めは「**香偈**（こうげ）」といいます。7字4行の詩の形をしています。

「香偈」の文は

「願我身浄如香炉（がながしんじょうによこうろ）」

「願我心如智慧火（がながしんによちえか）」

「念念焚烧戒定香（ねんねんぼんじょうかいじょうこう）」

「供養十方三世佛（くようじっぽうさんぜぶ）」

の4行です。

### 願我身浄如香炉

読み 願わくは我が身浄きこと香炉の如く

意味 願わくは、この私の身体の清らかなことが、まさに香炉のようであり  
ますように。

### 願我心如智慧火は

読み 願わくは我が心智慧の火の如く

意味 願わくは、この私の心が、智慧の火のようでありますように。

### 念念焚焼戒定香は

読み 念念に戒と定の香を焚焼して

意味 一念一念に戒律と禅定の香を焚いて、

### 供養十方三世佛は

読み 十方三世の佛に供養したてまつる

意味 あらゆる世界に、過去・現在・未来にわたってましますみ佛を供養い  
たします。

※経文傍訳浄土宗読誦聖典を参照しました。

## 秋の茶会

9月23日、秋彼岸法要の日に檀信徒会館にて秋の茶会を開催しました。華頂婦人会の役員の方が、お運び、お手前をして頂きました。ありがとうございました。



平成17年9月23日 秋の茶会で抹茶を飲まれている檀信徒の皆さん

秋の茶会では住職加藤良光が、「お薄（うす）」のお手前をしました。  
住職の妻加藤桂子は表千家茶道を習っています。



平成17年9月23日 秋の茶会でお手前をしている住職加藤良光

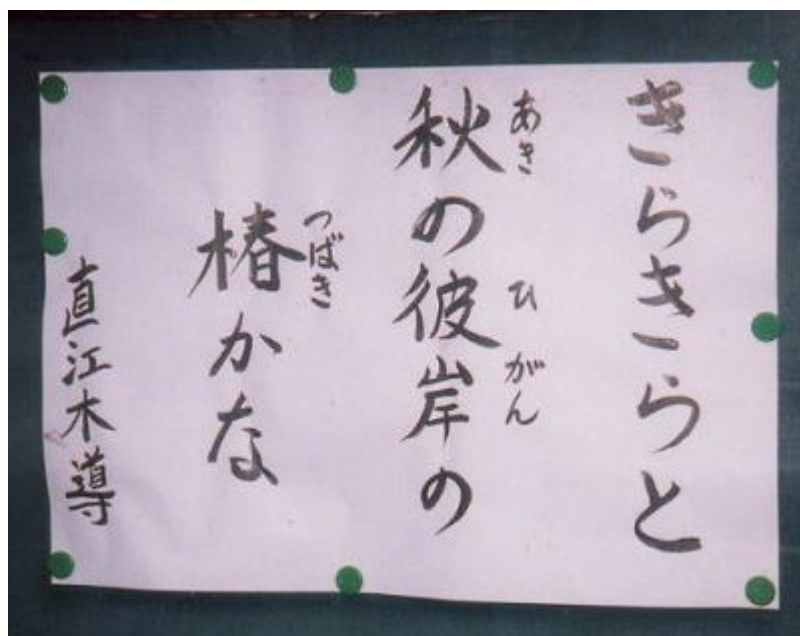
## 詠唱全国大会

10月5日の知恩院吉水講全国大会に、普仙寺より、黒柳花子さんと鈴木トメさんが参加されました。

住職加藤良光は、役員として10月4日・5日の2日間奉仕させて頂きました。

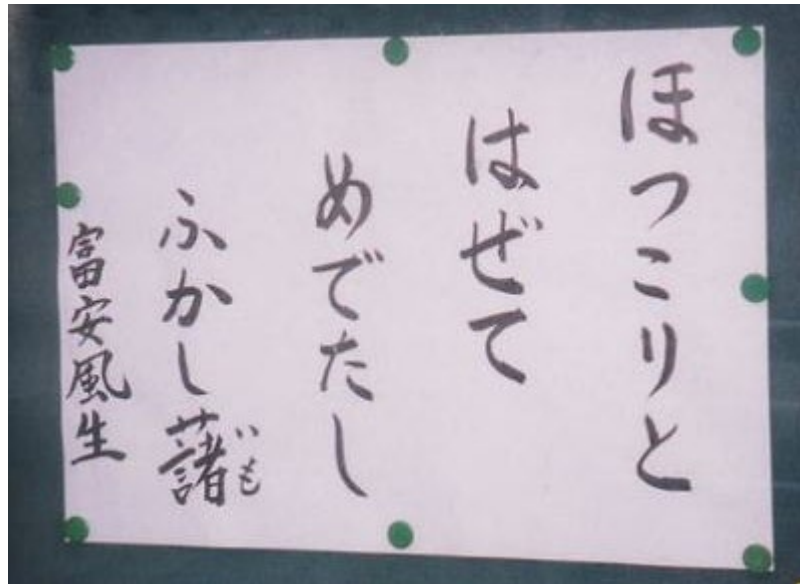
## 山門掲示板

山門左側の掲示板には季節の俳句を掲示しています。



山門掲示板に掲示された俳句

2週間から3週間ごとに書き替える予定でいます。



山門掲示板に掲示された俳句

## 寺行事案内

### 土曜礼拝 (どようらいはい)

毎週土曜日 午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

#### ◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

#### ◇法然上人御法語の予定

10月15日からは

- 前編第27章 親縁
- 前編第28章 来迎引摂
- 前編第29章 対治慢心
- 前編第30章 一期権化

### 月並法要 (つきなみほうよう)

11月8日(土) 午後7時より

年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。